

2024.2.16(金)

13:15 ~ 17:15 (12:45 開場)

鳥取市民会館

鳥取市掛出町 12

〈主催〉鳥取県



TOTTORI
SDGs

まち・人×テクノロジーを
みんなでデザインする

とっとり 未来共創フォーラム

プログラム

開会挨拶 13:15 ~ 13:20 平井 伸治 (鳥取県知事)

基調講演 13:20 ~ 14:05

人と地域が創り、人と地域に貢献するデジタル文明

村井 純 (慶應義塾大学 教授、内閣官房参与・デジタル政策担当)

プレゼンテーション 14:10 ~ 14:30

令和5年度の「共創」の取組事例と今後の展望

荒金 太郎 (日南町 自立改革推進本部 主幹)

高汐 一紀 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科長) ※オンライン登壇

特別講演 14:35 ~ 15:20

人間情報で人を支える ~ライフスタイルイノベーション~

津田 敦也 (セイコーエプソン(株) DX 推進本部 副本部長)

パネルディスカッション 15:30 ~ 16:40

まち・人×テクノロジーをみんなでデザインする: 新たな共創モデルで描く未来

パネリスト

村井 純 (慶應義塾大学 教授、内閣官房参与・デジタル政策担当)

柴崎 亮介 (麗澤大学 教授・副学長、鳥取県 CIO 補佐官、東京大学名誉教授) ※オンライン登壇

津田 敦也 (セイコーエプソン(株) DX 推進本部 副本部長)

平井 伸治 (鳥取県知事)

コーディネーター

瀧田 佐登子 ((一社) WebDINO Japan 代表理事、鳥取県県政顧問)

ネットワーキング 16:40 ~ 17:15 ゲストと参加者による交流イベント

会場展示

日南町をフィールドとした ヘルスケアデバイスの「共創」

慶應義塾大学 Sociable Robots Lab
(高汐一紀研究室)

「つながる」社会の実現に 向けた次世代の人材育成

Web×IoT メーカーズチャレンジ PLUS in 鳥取

参加費無料

参加には事前申込が必要です。
とっとり電子申請サービスより
お申し込みください。(2/9 締切)

<https://bit.ly/3SIWD7T>



とっとり未来共創フォーラム



開催趣旨

人口減少・少子高齢化の進行に歯止めがかからず、医療・買い物環境・公共交通など日常生活に欠かせない機能が低下しつつある今、人口最少・経済最小で全国より10年早い高齢化の進行が予想される鳥取県では、生活機能の維持が喫緊の課題です。

こうした課題を克服し、将来にわたり住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域の主役である住民自らが、行政・企業・地域団体など幅広いステークホルダーと協働し、課題解決に向けて取組を進めることが望まれます。

一方、課題先進地域の住民（エンドユーザー）目線で何が必要かを考え、最良の解決策を共に見出す「共創」のアプローチは、技術・製品の研究開発を行う教育機関や企業等においても、新たなアイデアの創出や競争力向上への貢献が期待されます。

本フォーラムでは、全国の一歩先を行く鳥取県内での「まち・人×テクノロジー」の実践事例を踏まえ、小さな県の強みである「顔の見えるコミュニティと小回り」を活かした新たな「共創モデル」を提案し、テクノロジーを活用した鳥取県の可能性を描きます。

登壇者紹介



撮影：村田和聡

村井 純

慶應義塾大学 教授、
内閣官房参与・デジタル政策担当

工学博士。1984年日本初のネットワーク間接続「JUNET」を設立。1988年インターネットに関する研究コンソーシアム「WIDEプロジェクト」を発足させ、インターネット網の整備、普及に尽力。初期インターネットを、日本語をはじめとする多言語対応へと導く。内閣官房参与、デジタル庁顧問、他各省市委員会主査等を多数務め、国際学会等でも活動。2013年ISOCの選出「インターネットの殿堂（パイオニア部門）」入りを果たす。「日本のインターネットの父」として知られる。著書に「インターネット」（岩波新書）他多数。



津田 敦也

セイコーエプソン（株）DX推進本部 副本部長

入社以来、液晶、有機ELディスプレイの開発、設計に携わり、フラットディスプレイ市場の創出を実践。セイコーエプソンが保有するデバイス技術、光学技術を応用した世界初のスマートグラス MOVERIO を開発し事業化。現在は、センシング技術による新規事業開拓に加え、全社のデジタルトランスフォーメーション戦略推進に取り組む。



平井 伸治

鳥取県知事

1984年自治省入省。1999年に鳥取県総務部長、2001年には当時全国最年少で鳥取県副知事。総務省政党助成室長、自治体国際化協会ニューヨーク事務所長を経て、2007年に鳥取県知事に就任。現在5期目。2021年より第14代全国知事会長を務めた。



柴崎 亮介

麗澤大学 教授・副学長、鳥取県 CIO 補佐官、
東京大学名誉教授

専門は、人間の行動シミュレーション、人間行動のAI予測、空間データインフラ計画など。「情報銀行」など個人の管理下での個人情報活用も推進している。元GIS学会会長。GEO（地球観測に関する政府間会合）のインフラ実装委員会委員、ICSU（国際学術会議）の世界データシステムの運営委員を務めた。



高汐 一紀

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科長

1995年、慶應義塾大学大学院理工学研究科にて博士（工学）を取得。電気通信大学助手、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科助教授、同大学環境情報学部准教授を経て現職。IEEE、ACM、情報処理学会、電子情報通信学会各会員。人間情報学会理事。専門は、ソーシャルロボティクス、ヒューマンロボットインタラクション、Internet of Robotic Things (IoRT)。電子情報通信学会では、クラウドネットワークロボット研究会研究専門委員会委員長を務めた。



荒金 太郎

日南町 自立改革推進本部 主幹

2003年日南町役場入庁。日本の30年後の姿と言われる同町をフィールドに、「協働と共創による中山間地域のモデルを創るまちづくり」の実現に向けた官民連携でのプロジェクトを推進。



瀧田 佐登子

（一社）WebDINO Japan 代表理事、鳥取県県政顧問

国内大手IT企業でUNIX・インターネット事業に携わった後、米国Netscapeでブラウザの国際化・日本語化に従事。2004年に一般社団法人Mozilla Japan（現WebDINO Japan）を設立。Mozilla製品・技術の普及啓蒙を進める傍ら、ウェブ標準技術やオープンソースの推進、人材育成などにも取り組む。現在は、ウェブとオープンを軸に、産官学・コミュニティをつなぐ非営利組織として、テクノロジーの普及とイノベーション拡大を目指す活動を行う。慶應義塾大学非常勤講師。中央大学理工学部兼任講師。

問い合わせ先

鳥取県 地域社会振興部 県民参画協働課 ボランティア社会・SDGs推進室
電話：0857-26-7644 / メール：kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp